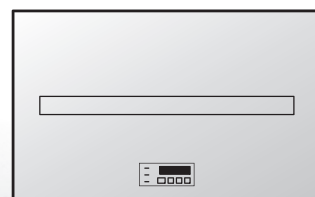
Panasonic®

取扱説明書

住宅用太陽光発電システム
マルチストリング型パワーコンディショナ

品番 VBPC340（4.0 kW）
VBPC355（5.5 kW）

【VBPC340】

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

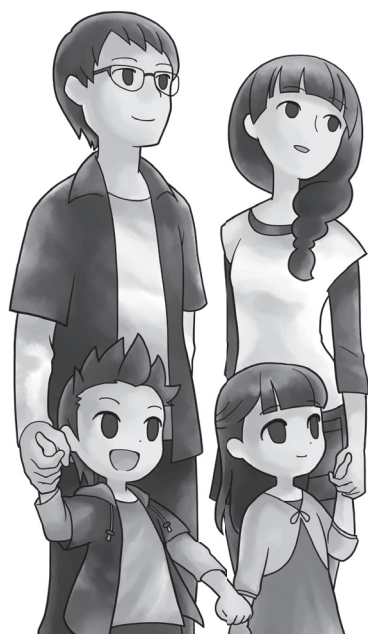
■ご使用前に**「安全上のご注意」（4、5ページ）を必ずお読みください。**

■お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

保証書付き

目的にあわせてすばやく探す

創エネ、省エネで、快適でエコな暮らしを

この住宅用太陽光発電システムは屋根に設置した太陽電池モジュールで発電した直流電力を
パワーコンディショナでご家庭で使用できる交流電力に変換して、電力会社の商用電源と一緒に、
照明や空調などの家庭用電源として使用できます。

太陽電池モジュール
太陽光エネルギーを直流電力に変換します。

接続箱
太陽電池モジュールとパワーコンディショナの接続と切断を行います。

エネルギーモニター
発電電力や積算電力量などを確認することができます。

毎日の運転操作は不要です

連系運転（通常）　12ページ

太陽電池モジュールの直流電力をパワーコンディショナで
交流に変換した後、家庭で使用している商用電源と接続し、
家庭の電気製品の消費する電力として使用します。

●商用電源が停電したとき
自動的に運転を停止します。停電回復後自動的に運転を再開します。

●太陽電池モジュールの発電がなくなったとき
自動的に運転を停止します。発電開始後自動的に運転を再開します。

●家庭での電力消費が太陽光発電システムで発電された電力より多いとき
不足分が電力会社の商用電源から補われます。

●太陽光発電システムで発電された電力が家庭での電力消費より多いとき
余剰分を電力会社に売ることができます。

停電したら自立運転に切り換えることが可能です

自立運転　16ページ

太陽電池モジュールが発電していれば、手動での切り換え操作（17ページ）により、商用電源の停電に関係
なくパワーコンディショナを運転することが可能です。

自立運転モードの注意点（16ページ）をよくお読みの上、ご使用ください。

実現します

もくじ

ご使用の前に必ずお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください

本製品はお客様の大切な財産です。確実に点検を行うとともに以下のことを必ずお守りください。

●万一、注意事項に従わず使用された場合の事故や故障などについては、責任を負いかねます。
●人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

■取り扱いについて

⚠警告

禁止

●パワーコンディショナの前面パネルを外したり、分解、改造をしない

火災・感電・やけど・けが・故障の原因となります。

●パワーコンディショナをぬれた手でさわったりぬれた布でふいたりしない

火災・感電・故障の原因となります。

●機器の上に乗ったり、ぶら下がったりしない

機器が脱落して、けが・感電・故障の原因となります。

接触禁止

●災害発生時や雷鳴時には機器に手を触れない

感電・けが・やけどの原因となります。

必ず守る

●パワーコンディショナからこげくさいにおいがする時は、運転を停止して接続箱内の全ての開閉器および住宅分電盤の連系ブレーカをOFFにする

そのまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因となります。
お買い上げの修理ご相談窓口にご相談ください。

●パワーコンディショナのお手入れなどをする際は、まず運転を停止し、その後分電盤の連系ブレーカと接続箱内の全ての開閉器をOFFにする

OFFにしなかったり、切断順序を間違えると感電・やけどの原因となります。

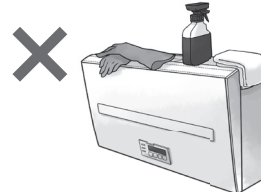
⚠注意

禁止

●パワーコンディショナの通気孔をふさがない

機器の通気孔をふさぐような場所に設置したり、機器にテーブルカバー・シーツ・タオルなどをかけて通気孔をふさがないでください。
内部の温度が上昇し、火災・故障・寿命低下の原因となります。

●上に物を置かない

機器の上に物を置かないでください。
運転時の発熱で、発火して火災などの原因となります。

接触禁止

●パワーコンディショナの運転中は不用意に手を触れない

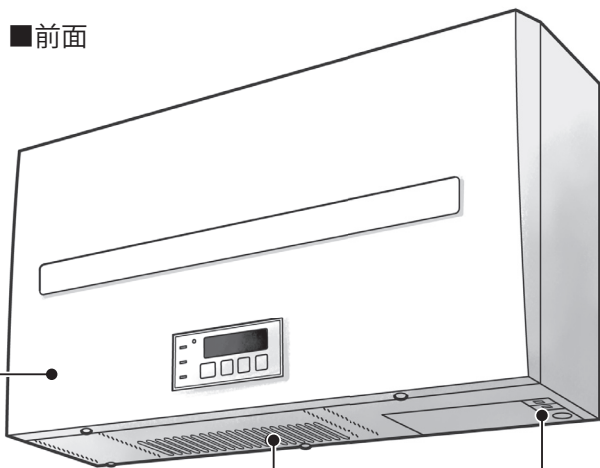
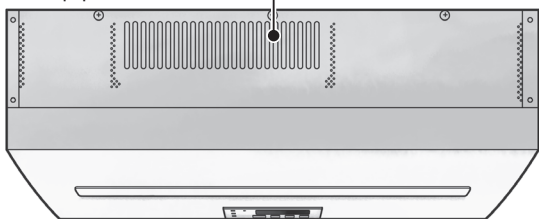
機器の運転中は温度が上昇するため、不用意に手を触れないでください。
やけどの原因となることがあります。
特にお子様、お年寄りのいるご家庭ではお気を付けください。

■前面

■上面

■自立運転用コンセントを使用する場合

⚠注意

禁止

●途中で電源が切れると困るデスクトップパソコンなどの電気製品は使用しない

夜間などで発電電力が不足すると､自立運転が停止するため電気製品の電源が切れます。デスクトップパソコンの場合はデータ破損などの原因となります。

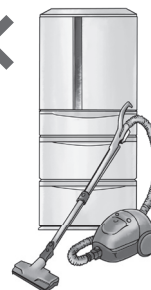
●モーターを使用している電気製品は、他の電気製品と同時に使用しない

自立運転出力を用いて、洗濯機や掃除機、冷蔵庫などモーターを内蔵している電気製品を使用しないでください。

過電圧の発生により他の電気製品が故障する原因となります。

■近くでしてはいけないこと

⚠警告

禁止

●ガソリンやベンジンなどを近くに置かない

ガソリンやベンジンなどの引火性溶剤を、機器の近くに置いたり、使用したりしないでください。
火災・故障の原因となります。

●水や油の蒸気をパワーコンディショナの近くにさらさせない

感電・漏電・故障の原因となります。

●装置の近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない

引火し、やけどや火災の原因となります。

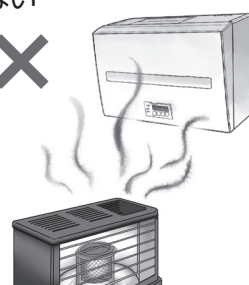
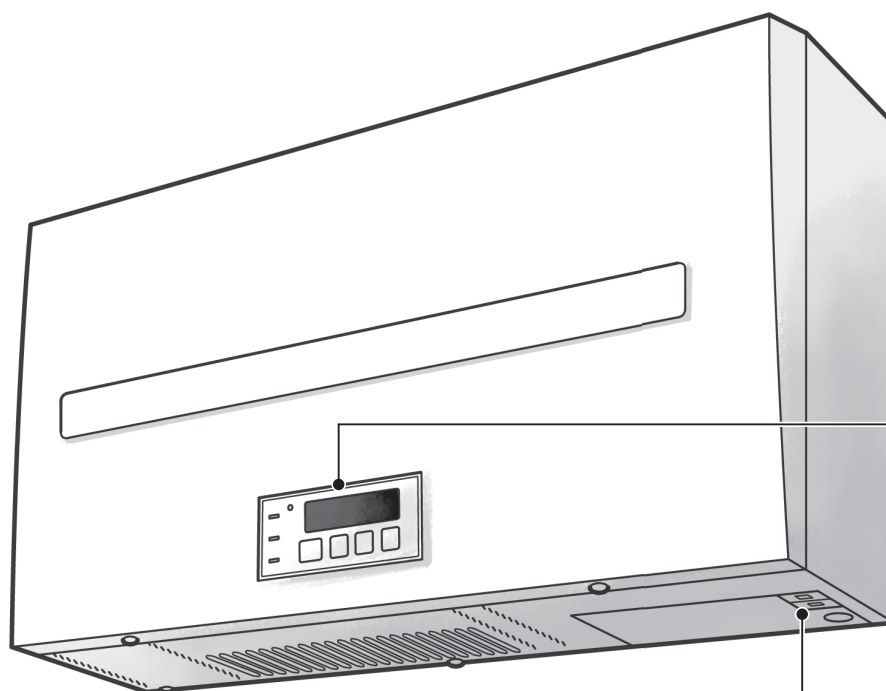
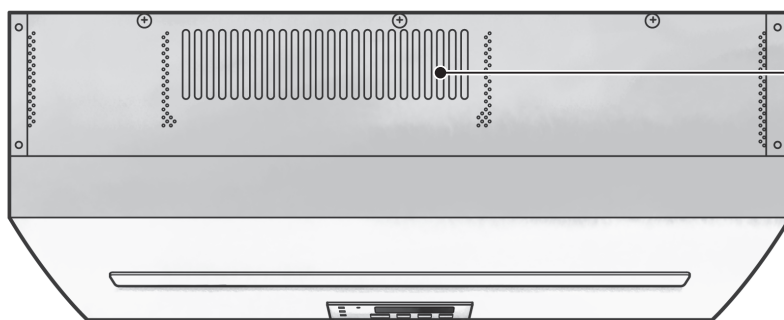
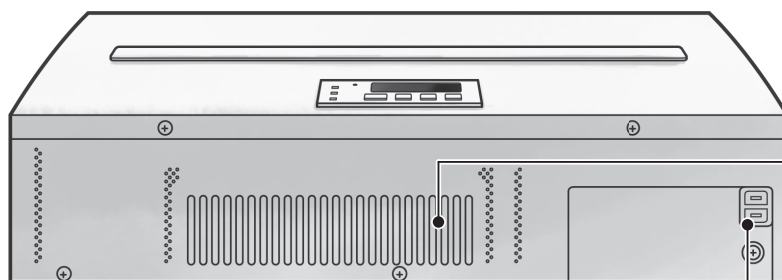
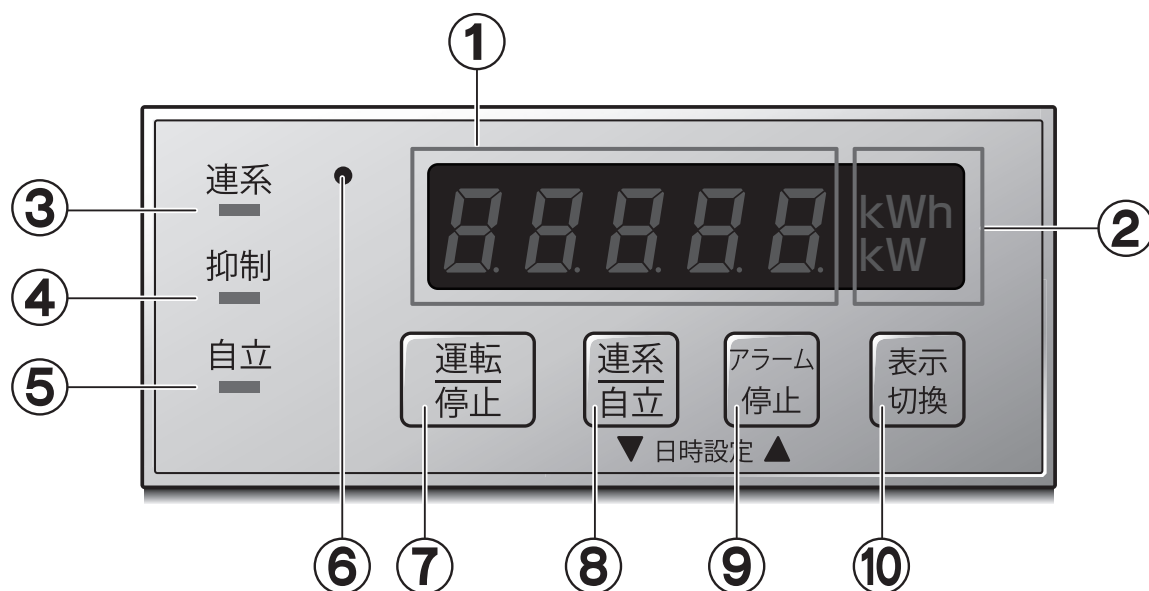
●パワーコンディショナの近くで発熱機器および蒸気の出る機器を使用しない

機器の近くで、ストーブなど発熱するものおよび炊飯器や加湿器など蒸気の出る機器を使用しないでください。
火災・故障の原因となります。

各部の名前

■前面

■上面

■下面

■操作・表示部

① 文字表示
発電電力、積算電力量、点検コード、
年月日、時分を表示します。

② 単位表示
kWh　総積算の電力量です。
kW　現在発電している電力です。

③ 連系運転表示ランプ
連系運転中に点灯します。

④ 抑制運転表示ランプ
抑制運転中に点灯もしくは点滅します。

⑤ 自立運転表示ランプ
自立運転中に点灯します。

⑥ アラーム孔
この孔よりアラームを鳴動します。

⑦ 運転/停止スイッチ
運転の開始と停止を行います。

⑧ 連系/自立スイッチ
連系モードと自立モードを切り換えます。
数字合わせに使用します。

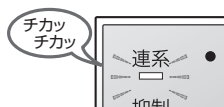
⑨ アラーム停止スイッチ
アラームの鳴動を停止します。
数字合わせに使用します。

⑩ 表示切換スイッチ
発電電力表示と積算電力量表示、時計表示を
切り換えます。
時計合わせにおいて、切り換えと決定を行います。

本書中の表示ランプ･文字表示の表現について

表示ランプの点灯・点滅・消灯を以下のように表現しています。

●点灯

●点滅

●消灯

文字表示の点灯・点滅を以下のように表現しています。

●点灯

●点滅

使用上のお願い

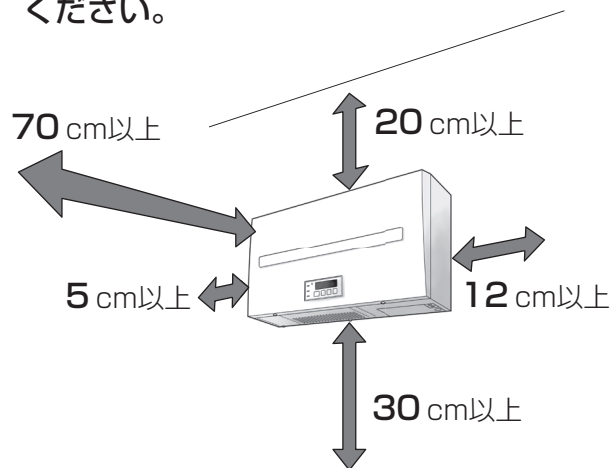
■パワーコンディショナの周辺は以下の状態にしてください。

- ●温度－10～プラス40 ℃、湿度90 %以下の環境下(結露なきこと)
- ●油煙・ほこりが少ないこと
- ●腐食性ガス・液体がかからない状態

■受信障害の可能性を避けるため、ラジオ・携帯電話などはパワーコンディショナの近くでご使用にならないでください。

■電気的雑音の影響を受けると困る電気製品をパワーコンディショナの近くで使用しないでください。

電気製品の正常な動作ができなくなる原因となります。

■パワーコンディショナの前面は点検スペースとして70 cm以上、下面は吸気スペースとして30 cm以上 空けておいてください。
その他、下記のスペースを空けておいてください。

お知らせ（知っておいていただきたいこと）

■発電電力について

太陽電池モジュールの定格出力は、JIS（日本工業規格）で定められた一定の条件下で算出された数値が示されています。
実際の発電は、日射強度や周囲温度、設置された方位や角度により異なります。
したがって、晴天日であっても常に定格通りの発電が行われているわけではありません。
晴天の日中では、定格出力の約7～8割の発電電力が、おおよその目安です。

■毎日の運転操作は不要です

- ●はじめてお使いになるときは、運転停止スイッチを押して、パワーコンディショナの運転を開始します。
- ●一度運転を開始させると、日射量に応じてパワーコンディショナは自動的に運転します。
- ●夜間・雨天時は従来どおり、商用電力（電力会社）から自動的に電力供給されます。

ご注意
- **●昼間でも電力会社の商用電源が停電したときは、装置も停止します。**
- **●運転中に“キュー”などの音がすることがありますが、異常ではありません。**

■発電電力や積算電力量を文字表示で確認できます

文字表示で見ることのできるデータは以下のとおりです。

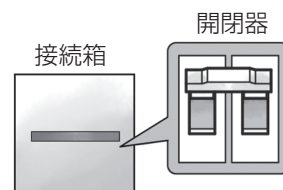
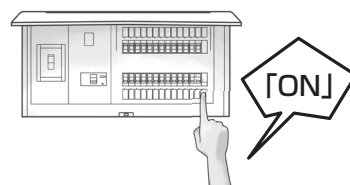
- ●発電電力　：現在、太陽光によってシステムが瞬時に発電している電力です。
- ●積算電力量：発電電力×時間で求められる総積算発電電力量です。

はじめてお使いになるときは

はじめてお使いになるときは、施工会社に下記の「準備する」「運転をはじめる」と、10ページの「年月日、時刻を設定する」の実施をご依頼ください。

準備する

1 接続箱の開閉器をすべてONにする

パワーコンディショナに太陽電池モジュールが発電した直流電力を供給します。

2 住宅分電盤の連系ブレーカをONにする

パワーコンディショナと電力会社の商用電源を接続します

運転をはじめる

1 文字表示を確認する

「準備する」を実施すると右記のとおり表示されて連系運転停止状態になります。

Q CLOCK と表示される

A 10ページにしたがい、年月日、時刻を設定してください

●準備中

88888 kWh kW

を確認します。

●連系運転停止状態（準備完了）

2 運転を開始する

運転/停止 を押すと発電開始カウントダウン終了後に、連系運転がスタートします。

●発電開始カウントダウン（秒）

218

●連系運転中

準備する
運転をはじめる

はじめてお使いになるときは

年月日、時刻を設定する

1 表示を切り換える

①連系運転停止状態で 表示切換 を押すと積算電力量表示になります。

●連系運転停止状態

- - - - -

●積算電力量表示

0 kWh

②積算電力量表示で 表示切換 を押すと時計表示になります。

年月日表示と時刻表示が1秒ごとに表示されます。

●年月日表示（2000年1月1日）

0.01.01

●時刻表示

1秒ごとに交互に表示されます

2 年月日を設定する

①設定モードに移行する

を3秒間長押しすると年月日表示の設定画面になります。

②「西暦下2桁」を入力する

西暦の下2桁の位置が点滅しますので

で数字を合わせます。

▼ 日時設定 ▲

表示切換 を押すと「年」が保存され、「月」設定表示に変わります。

●年の設定
【2012年に設定した場合】

③「月」、「日」の順に入力する

② と同じように数字を合わせて

表示切換 を押して「月」を保存すると「日」設定表示に変わります。

●月の設定【3月に設定した場合】

日の数字を同じく合わせて

を押すと年月日の入力がすべて保存され時刻設定画面に切り換わります。

●日の設定【25日に設定した場合】

数値の変更、決定、保存操作について

3 時刻を設定する

① 「時」を入力する

●時の設定【13時に設定した場合】

「時」の位置が点滅しますので

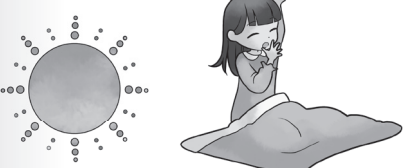
で数字を合わせます。

を押すと「時」が保存され、「分」設定表示に変わります。

② 「分」を入力する

●分の設定【30分に設定した場合】

① と同じように数字を合わせて

を押すと「分」が保存されて時刻設定が完了します。

時計リセット表示について

電源OFF状態が長期間継続した場合、保持していた日時情報がリセットされ、各表示と交互に右記表示がでます。
再度、日時設定をしてください。（10ページ参照）

連系運転について（通常）❶

■毎日の動作

時間帯	夜 朝	
状態	待機状態	連系運転準備状態
表示	日射量が増えれば自動的に運転を再開します。	連系運転への準備中です。発電開始時間を300 秒からカウントダウン表示します。 日射条件などにより発電開始時間のカウントダウン表示が停止し、最初からカウントダウンがスタートする場合があります。

抑制運転について

商用電源の電圧が規定の値（電力会社の指示により設定されます）を超えたとき、または機器本体が高温になったときに太陽電池モジュールの発電量や周囲温度にかかわらず、出力する電力を抑制します。この時に本体の抑制ランプが点灯（点滅）します。
商用電源の電圧または機器本体の温度が正常な範囲に戻れば、自動的に発電電力の抑制動作をやめて、通常運転に戻ります。

Q 文字表示に何も表示されない

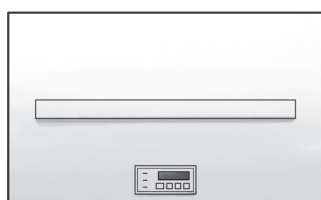
A パワーコンディショナに電力が供給されていません。連系ブレーカと接続箱の開閉器がONになっているか確認してください。

連系運転中　　　　　　　　　　待機状態

太陽光発電システムで発電した電力を表示します。
(連系運転中の瞬時出力電力を表示)

連系運転中に日射量不足により電力を出力できない場合、待機状態になり、連系運転を停止します。

毎日の動作

積算電力量を知りたいときは

●積算電力量を見る

［表示切換］を押すと積算電力量が表示されます。

元の画面に戻すときは［表示切換］を押してください。

スイッチを押さなければ、60 秒後に元の画面に戻ります。

※自立運転時の積算電力量は加算しません。

ご注意

- **本体の電力量表示は、ある程度の誤差を含みます。発電量の目安としてご活用ください。(本製品は、計量法の対象ではありません。)**
- **太陽電池の発電停止のタイミング（日没・日射不安定・接続箱内の開閉器のOFFなど）と商用電源の停電が重なった場合には、積算電力量などのデータが正常に記録されないことがあります。**

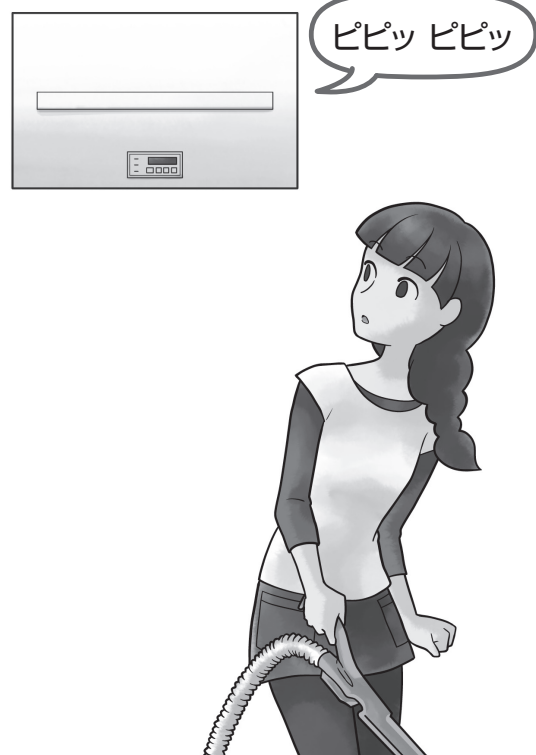
連系運転について（通常）②

■商用電源が停電した場合

商用電源の停電が発生すると「E02」が表示されます。（機器の状態によっては他の点検コードが表示されることもあります。）
自立運転に切り換えることが可能です。
切換方法は17ページをお読みください。

商用電源が停電した場合、本装置は自動的に運転を停止します。商用電源が正常にもどれば5分程度で自動的に運転を再開します。
（運転／停止ボタンを操作する必要はありません。）

■異常発生について

※運転中に"キュー"などの音がすることがありますが、異常ではありません。

異常のお知らせ

異常が発生したら、コードが点滅で表示されます。
パワーコンディショナの停止が必要な異常の場合はアラームが鳴ります。

アラーム停止

[アラーム停止] を押すとアラームが停止し、表示が点滅から点灯に変わります。

詳しくは、18ページの「こんなときは」を確認して対応してください。

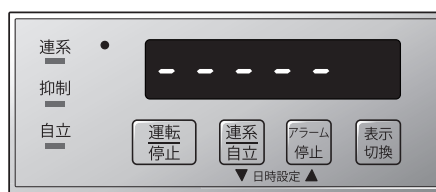
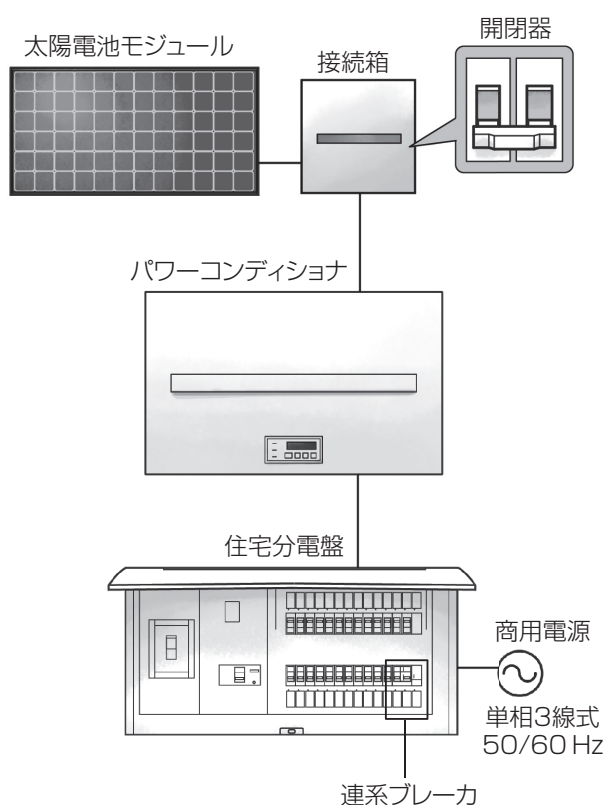
商用電源が停電した場合
異常発生について

停止方法について

■パワーコンディショナを停止したい場合は（点検時）

パワーコンディショナを停止したい場合は、

運転中に 運転/停止 を押すと停止状態になります。

■システムを停止したい場合は

※連系ブレーカは分電盤と別置きの場合があります。

システム全体を停止したい場合には、必ず

を押して運転を停止してから

住宅分電盤の連系ブレーカと、接続箱内の全ての開閉器をOFFにしてください。

※上記の操作が正しく行われない場合は…

を押さずに（運転を停止していない状態）

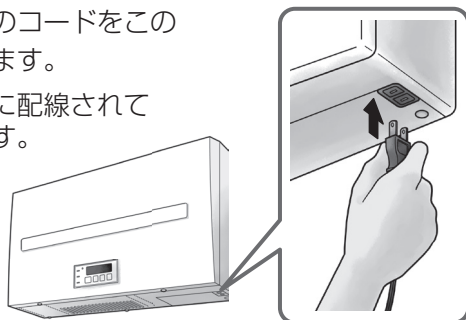
連系ブレーカおよび、接続箱内の全ての開閉器をOFFにすると積算電力量などのデータが記録されないことがあります。

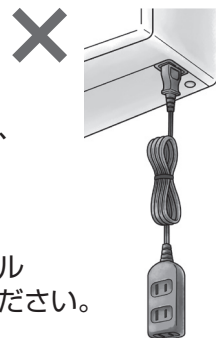
自立運転について（停電時）

自立運転について

停電時などに、自立運転に切り換えた場合、太陽電池モジュールで発電した電力をパワーコンディショナ下面の自立運転用コンセントから取り出すことができます。ただし、日射量によっては発電量が少なく、15 A（自立運転用コンセント最大電流）まで使用できない場合があります。

利用したい電気製品のコードをこのコンセントにつなげます。

※外部のコンセントに配線されている場合もあります。

ご注意

テーブルタップや電気製品をコンセントにぶら下げるなど、プラグやコードに張力がかかった状態で使用しないでください。
使用を終えられたら、テーブルタップや電気製品は外してください。

自立運転モードのご注意点

⚠警告

禁止

●自立運転用コンセントに以下の製品をつながない

自立運転時の発電電力は天候により変動します。パワーコンディショナの発電電力が自立運転用コンセントにつないだ電気機器の消費電力より小さい時は運転を停止します。途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受けるおそれがある以下の機器はご使用にならないでください。

・すべての医療機器、灯油やガスを用いた暖房機器
・デスクトップパソコンなどの情報機器およびその周辺機器、炊飯器、電子レンジなどの調理器具
・その他、電源が切れると生命や財産に損害を受けるおそれのある機器

使える機器(例)

携帯電話充電器

ノートパソコン

●太陽光発電システムが発電していないときは使用できません。

夜間などで発電できないときは、自立運転ができません。

●自立運転用コンセントを使用してください。

自立運転のときは、自立運転用コンセントのみに発電電力が供給されます。
停電時にその他のコンセントは使用できません。

●発電電力より消費電力が小さな機器を使用してください。

自立運転用コンセントで使用できる電流は最大で15 Aまでです。消費電流が15 Aまでの電気機器をご使用ください。使用する機器により異なりますが、おおよそ1000～1500 Wに相当します。
太陽光発電システムで発電した電力よりも自立運転用コンセントに接続した機器の消費電力が大きい場合、自立運転ができません。
モーターで動作する電気機器の中には、動作開始時に突入電流が流れて動作できないものがあります。（掃除機、冷蔵庫、ドライヤーなど）また、これらの機器を使用すると、保護機能がはたらき停止することがあります。

●使用している機器が途中で使えなくなる場合があります。

太陽光発電システムで発電した電力を使用するため、天候の変化などで発電電力が不安定になることがあります。
発電電力が低下した場合、自動的に自立運転を停止します。

●自立運転中に自動停止した場合、太陽光発電システムの発電電力が回復しても自動的には運転を再開しません。

自立運転を始める

停電が発生してエラー表示がでたら
連系運転を停止して自立運転を開始
することができます。

●エラー表示

1 運転停止 を押して連系運転を停止する

●連系運転停止状態

2 住宅分電盤の連系ブレーカをOFF（切）にする

●自立運転停止表示

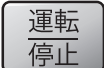
3 連系自立 を押してモードを切り換える

●自立運転中待機状態表示

4 自立運転停止表示を確認して を押す

5 自立ランプの点灯と出力電力の表示を確認する

利用したい電気製品のコードを自立運転用コンセントに
つないでください。

●自立運転中の出力電力を表示

待機状態

自立運転中に日射量不足により電力を出力できない場合、アラームが
鳴って待機状態になり、自立用コンセントからの出力が停止します。

待機状態の解除　ご使用の電気製品を減らしてください。

●自立運転中待機状態表示

連系運転への切り換え

1 運転停止 を押して自立運転を停止させる

●自立運転停止表示

2 住宅分電盤の連系ブレーカをON（入）にする

●連系運転停止状態

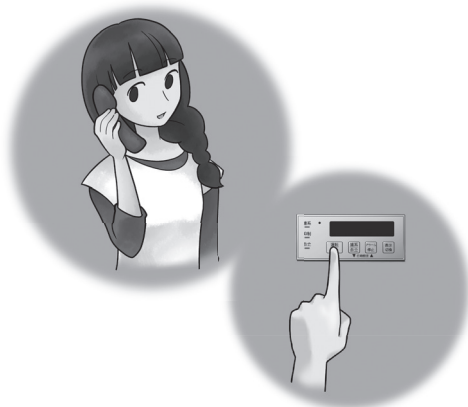
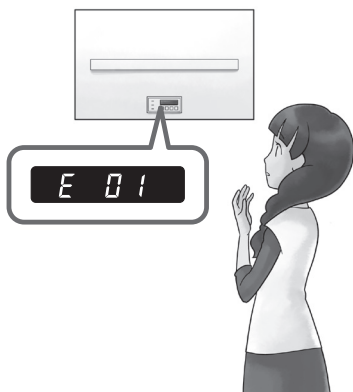
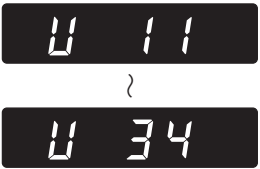
3 連系自立 を押して自立モードから連系モードに切り換える

●連系運転中

4 運転停止 を押して連系運転を開始する

こんなときは

下記内容をご確認の上、対処方法をお試しください。
確認の結果、異常がある場合は修理ご相談窓口までご連絡ください。

1 文字表示の点検コードを確認してください ▶ **2** 点検コードの内容を確認してください ▶ **3** 対処欄に記載されている内容にしたがってください

点検コード	意味	対処
E 01 〜 E 08	商用電源の異常のため、パワーコンディショナの運転を停止しました。	商用電源の異常が回復してから約5分間で自動的に運転を再開します。 そのままの状態でお待ちください。 停電はしていないのに10分以上表示が変わらない場合は、点検コードを控えて修理ご相談窓口にご連絡ください。
F 01 〜 F 04	パワーコンディショナの内部で異常が発生した可能性があります。	点検コードを控えて接続箱の開閉器をOFFにし、住宅分電盤の連系ブレーカをOFFにした後、修理ご相談窓口にご連絡ください。
P 01 〜 P 24	パワーコンディショナの運転が一時的に不安定になりました。 パワーコンディショナの運転を一時的に停止しています。	しばらくそのままの状態でお待ちください。 自動的に運転を再開します。 再開しない場合は、点検コードを控えて修理ご相談窓口にご連絡ください。
P 25	消費電力に対し、発電電力が不足しているため、パワーコンディショナの運転を停止しました。	自立運転モードにて、運転開始時などに過大な電流が流れる電気製品を使用しないでください。 対象となる電気製品を自立運転用コンセントから外し、自立運転開始操作（17ページ参照）をしてください。
P 26	出力電圧が過電圧状態になったため、パワーコンディショナの運転を停止しました。	

点検コード	意味	対処
P 27	過電流が流れたため、パワーコンディショナの運転を停止しました。	自立運転モードにて、運転開始時などに過大な電流が流れる電気製品を使用しないでください。 対象となる電気製品を自立運転用コンセントから外し、自立運転開始操作（17ページ参照）をしてください。
P 28	過負荷状態を検出したためパワーコンディショナの運転を停止しました。	
P 29	出力電圧が不足電圧状態になったため、パワーコンディショナの運転を停止しました。	
U 11 〜 U 34	パワーコンディショナの運転が不安定な状態が複数回続きました。パワーコンディショナの運転を停止しています。	連系運転の開始操作（9ページ参照）をしてください。 それでも表示が消えない場合は、点検コードを控えて接続箱の開閉器をOFFにし、住宅分電盤の連系ブレーカをOFFにした後、修理ご相談窓口にご連絡ください。
U 35	「P25」を5回検出しました。 運転を一時的に停止しています。	自立運転モードにて、運転開始時などに過大な電流が流れる電気製品を使用しないでください。 対象となる電気製品を自立運転用コンセントから外し、自立運転開始操作（17ページ参照）をしてください。
U 36	「P26」を5回検出しました。 運転を一時的に停止しています。	
U 37	「P27」を5回検出しました。 運転を一時的に停止しています。	
U 38	「P28」を5回検出しました。 運転を一時的に停止しています。	
U 39	「P29」を5回検出しました。 運転を一時的に停止しています。	
CLOCK	パワーコンディショナで保持している日時情報がリセットされました。	年月日と時刻を設定してください。 （10ページ参照）
JudEn	自立運転中に系統電源が回復し、パワーコンディショナが受電しています。	自立運転を停止し、連系運転を開始することが可能です。（17ページ参照）
真っ暗な表示	電力が供給されていません。	連系ブレーカと接続箱の開閉器の状態を確認してください。（12ページ参照）

文字表示、ランプ一覧

表示ランプ、文字表示の表現については7ページをご参照ください。

連系モード

●停止状態(9ページ)
運転を停止しています。
運転停止スイッチを押すと
運転を再開します。

●発電開始カウントダウン(12ページ)
発電が開始されるまでの
時間(300～0 秒)を表示
します。

●運転中(13ページ)
連系運転中の出力電力を
表示します。

●抑制運転(12ページ)
電圧上昇時、温度上昇時に
出力電力を抑制します。

●待機状態(12ページ)
太陽電池モジュールの発電
電力が不足しています。
発電が十分になると自動で
再開します。

自立モード

●停止状態(17ページ)
運転を停止しています。
運転停止スイッチを押すと
運転を再開します。

●運転中(17ページ)
自立運転中の出力電力を
表示します。

●停電回復画面(19ページ)
停電から回復した場合はそ
れぞれの画面と停電回復画
面が交互に表示されます。
自立運転を停止し､連系運転
を開始することが可能です。

●待機状態(17ページ)
太陽電池モジュールの発電
電力が不足しています。
発電が十分になると自動で
再開します。

●年月日表示 (10ページ)
年月日を表示します。
(2012年3月25日)

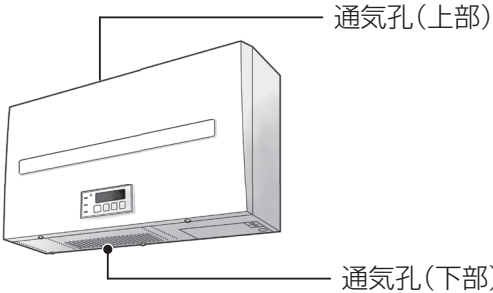
●時刻表示 (11ページ)
時刻を表示します。
(9時30分)

●時計リセット (11ページ)
保持していた日時情報が
リセットされ、電源OFF状
態が長期間継続した場合、
各表示と交互に右記表示
がでます。
再度、日時設定をしてく
ださい。(10ページ参照)

●停電時 (14ページ)
連系運転ができません。
自立運転に切り換えて
ください。(17ページ参照)

●積算電力量の表示(13ページ)
初めて発電を開始してから
現在までの発電電力量を
表示します。

●点検コードの表示(18～19ページ)

●電源投入時 (9ページ)

電源OFF状態直前によって異なります。

点検とお手入れのしかた

通常の点検

●事故を防止するため、下記の点検を必ず行ってください。（点検頻度：1回／月）

点検項目	対処方法
□ 装置の通気孔が、ほこりや物でふさがっていませんか。 通気孔（上部） 通気孔（下部）	必ず本ページ内「お手入れのしかた」にしたがって、パワーコンディショナを停止させ、機器の温度が完全に冷えてからほこりや物を取り除いてください。
□ 頻繁にアラームが鳴ったり、点検コードを表示していませんか。	文字表示に点検コードが表示されていたら、18、19ページの内容にしたがって処置してください。

※起動時や発電電力が大きいときに、運転音が少し大きくなることがありますが、故障ではありません。

メンテナンススケジュール

メンテナンススケジュール	5年	10年	15年	20年…
通常点検（1回／月）	毎月点検実施　※定期点検はお客様ご自身で実施してください			
パワーコンディショナ本体取換（10年）		取り換え		取り換え

※設置後10年程度経過すると劣化が進みますので、取り換えをご検討ください。

お手入れのしかた

⚠警告

禁止

●直接水洗いをしない

火災・感電・漏電・故障の原因となります。

⚠注意

必ず守る

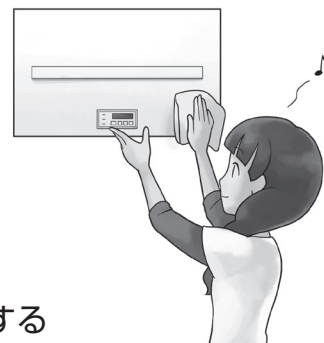
●必ず運転を停止し、住宅分電盤の連系ブレーカと接続箱内の全ての開閉器を「OFF」にする

けが・やけどの原因となります。

1 運転/停止 を押して運転を停止する

2 ブレーカをOFFにする

3 機器の温度が完全に冷えたことを確認する

4 掃除機でほこりを吸い取ったり、やわらかい布でからぶきをする

仕様

型名		VBPC340	VBPC355
定格出力		4.0 kW	5.5 kW
入	入力回路数	4回路	5回路
	定格入力電圧	DC 250 V	
	使用入力電圧範囲	DC 70～380 V	
	最大入力電流	32 A	40 A
出	定格出力電圧	連系運転時：202 V 自立運転時：101 V	
	定格出力周波数	50 Hz／60 Hz	
	定格出力電流	20 A	27.5 A
主回路方式	インバータ方式	連系運転時：電圧型電流制御方式 自立運転時：電圧型電圧制御方式	
	スイッチング方式	PWM（パルス幅変調）方式	
	絶縁方式	非絶縁	
	電気方式	単相二線式（単相三線式配電線に接続）	
電力変換効率		95.0 %（定格出力時）	
出力電流ひずみ率		総合5 %以下、各次3 %以下	
入力電力制御方式		最大電力点追従制御	
保護機能		直流過電圧、直流過電流、交流過電流、直流地絡、温度異常	
連系保護機能		交流過電圧、交流不足電圧、周波数上昇、周波数低下	
単独運転検出機能		受動方式、能動方式	
自立運転時出力容量		1.5 kVA	
運転音		25 dB以下（正面1mでのAレンジ値）	35 dB以下（正面1mでのAレンジ値）
使用環境条件		屋内、温度：－10 ～ +40 ℃　湿度：90 %以下（結露なきこと）	
外形寸法		518 mm×280 mm×145 mm	620 mm×280 mm×155 mm
製品質量		約15.5 kg	約19.0 kg

パワーコンディショナの整定値　お客様控え

保護機能		整定値	時限
過電圧	OVR	V	秒
不足電圧	UVR	V	秒
周波数上昇	OFR	Hz	秒
周波数低下	UFR	Hz	秒

保護機能		整定値	時限
単独運転検出	受動的方式	度	0.5 秒以内に動作
	能動的方式	――――――	0.5～1.0 秒の間に動作
	発電開始 カウントダウン時間	秒	
電圧上昇抑制		V	

Panasonic

マルチストリング型パワーコンディショナ保証書 出張修理

※お客様	お名前 様 ご住所 電話番号
※販売店	取扱販売店名・住所・電話番号

※お引き渡し日	年　月　日
※品　番	VBPC
製造番号	
保証期間	（お引き渡し日から）　1年間

無料修理規定　　**ご販売店様へ　上記※印欄は必ず記入してお渡しください。**

本書はお引渡し日から本書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
　（イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
　（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
　（ハ）この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
　（イ）使用上の故意・過失または不当な修理や改造による故障及び損傷
　（ロ）住宅用太陽光発電システムが寿命の場合
　（ハ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
　（ニ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）等による故障及び損傷
　（ホ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
　（ヘ）仕上げのキズ等で、お引渡し時に申し出がなかったもの
　（ト）瑕疵によらない自然の磨耗、さび、かび、変質、変色、その他類似の事由による場合
　（チ）維持管理の不備による汚れ、さび
　（リ）施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する損傷や故障
　（ヌ）契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合
　（ル）保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの
　（ヲ）本書のご提示がない場合
　（ワ）保証書にお引き渡し年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（領収書等で左記内容がわかる場合はその限りではありません）、あるいは字句を書き替えられた場合
　（カ）離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
6. お客様ご相談窓口は取扱説明書のアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※This warranty is valid only in Japan.

パナソニック株式会社
パナソニック エコソリューションズ電路株式会社
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理 などは
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。
▼お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名
電　話　（　　）　ー
お買い上げ日　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは

「こんなときは」（18ページ）でご確認のあと、直らないときは、連系ブレーカと開閉器を「切」にしてお買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製　品　名	住宅用太陽光発電システム マルチストリング型　パワーコンディショナ
●品　　番	VBPC340 VBPC355
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、施工説明書、取扱説明書の記載内容に従って、お買い上げの販売店・工事店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが販売店・工事店にご相談ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

＊ 修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
出張料	技術者を派遣する費用
部品代	部品および補助材料代

＊ 補修用性能部品の保有期間　5年
補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後5年保有しています。

■相談先がなくお困りの場合は、以下の**お客様ご相談窓口**にご相談ください。

アフターサービス　パナソニック お客様ご相談窓口のご案内

●使いかた・お買い物などのご相談は

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル（携帯・PHS OK）**0120-878-365**
※携帯電話・PHS からもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合
06-6907-1187

■FAX フリーダイヤル
0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 **Osaka** (06)6645-8787
Open:9:00 - 17:30 (closed on Saturday/Sundays/nationalholidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理・部品などのご相談は

パナソニック エコソリューションズ 修理サービスサイト
http://sumai.panasonic.jp/support/repair/

パナソニック エコソリューションズ 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）**0570-081-365**
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。365日／受付9時～20時

ただし、携帯電話・PHS・IP/ひかり電話などは下記の電話番号へおかけください。

大阪☎06-6906-1090
札幌☎011-261-6401㊢　名古屋☎052-551-7900㊢
東京☎03-5392-7190㊢　福岡☎092-622-0531㊢

※㊢印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。

※電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社
パナソニック エコソリューションズ電路株式会社
〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

8A3 E82 0000 1
DC0312-0